



広徳中学校だより

学力特集号

令和3年11月11日

学校教育目標 「何事にも全力で取り組む、感謝の気持ちをもつ笑顔あふれる生徒の育成」

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

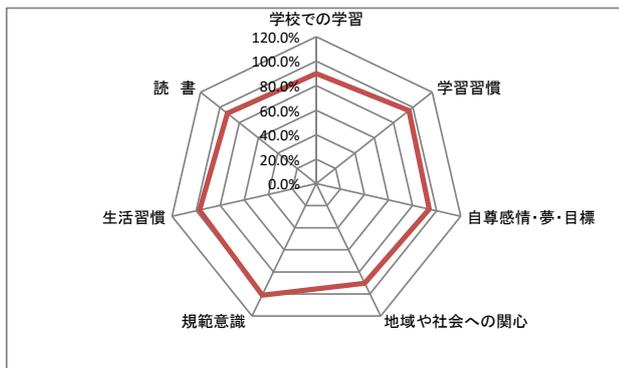
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	漢字の読み書きや、話合いの話題や方向を捉える問題は理解できています。文章に表れているものの見方、考え方を正しく捉えることや、文脈を理解して語句の意味を正しく理解する問題に課題がみられます。	下回っている
数学	関数などは概ね正答率が高い傾向でした。整式の加法と減法の問題など比較的簡単な問題で課題がみられました。ケアレスミスなどが推測されます。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・質問「教科の勉強は好きですか」では複数の教科で肯定的な回答がみられました。一方「土曜日や日曜日など1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」では、2時間以上の生徒の割合が全国を下回りました。 ・質問「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」では全国を上回るなど、Kワークを活用して計画を立てて学習をしていることが伺えます。 ・「普段一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなど)をしていますか」の質問では3時間以上している生徒割合が全国を上回りました。長時間機器にふれている生徒が多いことが伺えます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・教科自体に対しては好きな(肯定的な)生徒が多くみられました。
- ・授業内容の理解や、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりすることに課題がみられました。
- ・小学校中学校9年間を通して、児童生徒が主体的に学びを進められる「めあて」「まとめ」を活用して、児童生徒自ら考えたり話したりする力を高めます。またタブレットなどのICT機器も活用してアクティブラーニングを進めます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭での勉強時間は、平日は全国と同じですが土日は全国を下回りました。また携帯テレビなどの長時間の使用もみられました。いっぽうデジタル機器の家庭でのルール決めは、7割の生徒が約束を守っています。このことからデジタル機器の家庭での適切ば使用時間を意識付けするため学校ではKワーク等を活用して、長時間化しない目標設定をおこないます。ご家庭でも協力をお願いします。